

システム名	MSP
ソフトウェア略名	MF-STEP21
適用V/L	V21L10
資料コード	A9316641-2110-2

ソフトウェア説明書

OSIV/MSP		
SIMPLIA/MF-STEP COUNTER		V21

ま え が き

本ソフトウェア説明書は、

OSIV/MSP SIMPLIA/MF-STEP COUNTER V21L10
について説明したものです。ソフトウェアの使用に先立ち、本書をご一読ください。

なお、本ソフトウェアは、OSIV/F4 MSP(E20)、OSIV/MSPスケーラブルSCMPシステム環境
においても稼働します。したがって、それぞれのインストールにつきましても、
本書をご利用ください。

本ソフトウェアのインストールを実施するにあたり、その2週間前までに当社技術
員から本ソフトウェアの最新保守情報をお問合わせのうえ、インストールを実施頂く
ようお願い致します。また、ご不明な点は当社の技術員にお問い合わせください。

なお、本書で用いる記号の意味は次のとおりです。

参照⇒ 本書中の参照箇所を示しています。

参照【】 “適用マニュアル”に記載されているマニュアルの参照箇所を示して
います。

例： 参照【1】 1.2 …… “適用マニュアル” 第1項のマニュアル
の1.2を参照

1999年 6月

富士通株式会社
株式会社富士通青森システムエンジニアリング

目 次

1. 機能概要	5
2. 構成プログラム	6
3. 適用マニュアル	6
4. 新機能	7
5. 制限事項	8
6. 移行上の注意	9
7. ソフトウェア組合せ条件	10
8. 入出力装置	11
9. 提供媒体形式と内容	11
10. D A S D所要量	12
11. インストレーションの手引	13
12. 稼働確認	22

1. 機能概要

このソフトウェアは以下の機能を備えている。

OSIV/MSP SIMPLIA/MF-STEP COUNTER (SIMple development and maintenance support Program Libraries for Application system/Maintenance and management Facility of STEP COUNTER) は、プログラム、定義体のステップ数を計測し、その結果をドキュメントおよびCSV形式ファイルに出力するツールである。

SIMPLIA/MF-STEP COUNTERは以下の機能を持つ。

1.1 計測情報出力機能

GEM またはPOライブラリ内に存在するモジュール(以後、GEMライブラリのモジュール、POライブラリのメンバを合わせてモジュールと呼ぶ。)のステップ数を計測する。それとともに、そのモジュールに組み込まれるINCLUDE メンバ、COPYメンバ、AIM 展開レコード域、表示イメージメンバのステップ数も計測する。計測対象とするプログラム、定義体は次のとおりである。

- ① COBOLプログラム
- ② ADJUSTフォームオーバーレイパターン定義体ソース
- ③ アセンブラプログラム
- ④ ①~③以外のプログラム、定義体ソース(任意プログラム(定義体)ソースと呼ぶ)
- ⑤ ①~④に対して、パラダイムを利用した場合のプログラム、定義体ソース

1.2 計測情報保存機能

計測情報出力機能によって計測された結果を、台帳ファイルと呼ぶファイルに保存することができる。繰り返し同じモジュールの計測を行ったときには、最新情報を台帳ファイルに保存する。

1.3 保存情報出力機能

計測情報保存機能によって保存した台帳ファイルから、必要な情報を選択して出力することができる。表1.1に、各々のソースプログラム、定義体に対して出力される情報を示す。

表1.1 主な出力情報

ソースプログラム、定義体	主な出力情報	備考
COBOLプログラム	宣言部、実行部、注釈、INCLUDE メンバ、COPYメンバ、AIM 展開レコード域などのステップ数、及び組み込みメンバがどの(拡張)原始プログラムで使用されているかなど	パラダイムを使用している場合はそのステップ数
ADJUST フォームオーバーレイパターン定義体ソース	有効、注釈ステップ数など	
アセンブラソース	有効、注釈ステップ数など	
任意プログラム(定義体)ソース	有効、注釈ステップ数など	

2. 構成プログラム

このソフトウェアは、表2.1に示すプログラムから構成されている。

表2.1 構成プログラム

項番	分類	プログラム名	バージョン・レベル	備考
1	SIMPLIA/ MF-STEP COUNTER	SCCNTBCP	V21L10	計測情報出力プログラム
		SCOUTBCP	V21L10	保存情報出力プログラム
		SCCNTCMB	V21L10	計測結果保存プログラム
		SCCNVMCP	V21L10	台帳ファイルコンバートプログラム

3. 適用マニュアル

このソフトウェアに適用されるマニュアルは表3.1に示すとおりである。

マニュアル変更通知は随時発行されることがあるので、ソフトウェアを使用する前に確認が必要である。

表3.1 適用マニュアル

項番	マニュアル名称	マニュアルコード	備考
1	OS ^{IV} SIMPLIA/ MF-STEP COUNTER解説書	J1M0-9101-01	

4. 新機能

このソフトウェアでは、以前のバージョンレベルに対して以下のような機能追加及び改良が行われている。

4.1 SIMPLE/STEP COUNTER V20L30で行われた機能追加・改良

4.1.1 COBOL プログラムを計測時、以下のパラメタの追加により、COBOL85 V12 の予約語の計測が可能となった。

- { V11 . . . COBOL85 のバージョンがV11 の場合に指定する。
- V12 . . . COBOL85 のバージョンがV12 の場合に指定する。

4.2 SIMPLIA/MF-STEP COUNTER V21L10で行われた機能追加・改良

4.2.1 計測情報出力機能及び、保存情報出力機能にて、ステップ情報をCSV 形式ファイルへの出力が可能となった。

- { CSV . . . ステップ情報をCSV 形式ファイルに出力したい場合に指定する。
- NOCSV . . . ステップ情報をプリンタにのみに出力したい場合に指定する。

参照【1】2.3及び3.2

4.2.2 COBOL 計測時、GEM のINCLUDE 制御文でのデータセット指定による組込みメンバの計測が可能となった。

参照【1】1.6

4.2.3 DLIST 文によるプログラムステップ情報の抑止を可能とした。

- DLIST { COPY . . . 組込みメンバステップ情報のCOPY命令に関する情報を抑止
- INC . . . 組込みメンバステップ情報のINCLUDE 命令に関する情報を抑止
- GINC . . . 組込みメンバステップ情報のGEM のINCLUDE 制御文に関する情
- SUBS . . . 報を抑止
- PGM . . . 組込みメンバステップ情報のSUBSCHEMA に関する情報を抑止
- PGM . . . プログラムステップ情報に関する情報を抑止

参照【1】3.3

5. 制限事項

このソフトウェアでは、マニュアルに記載の事項のうち使用を制限しているものがある。
これらの制限事項の内容とその代行方法を表5.1 に示す。

表5.1 制限事項（続く）

項番	制限事項	備考 (代行方法, その他)	解除予定
1	本ソフトウェアを認定ライブラリにインストールする又はインストールしたロードモジュールライブラリを認定ライブラリとして使用することは出来ない。	ジョブ制御文のJOBLIB又はSTEPLIB DD文に本ソフトウェアを格納しているロードモジュールライブラリを指定して実行する。	なし
2	<p>定量制限</p> <p>(1) 計測及び出力対象の各情報の数は9,999以内</p> <p>(2) 総ステップ数は, 99,999,999ステップ以内</p> <p>(3) 合計ステップ数は, 99,999,999ステップ以内</p> <p>(4) 組込みメンバのステップ数は, 99,999,999ステップ以内</p> <p>(5) 組込みメンバの入れ子の階層は, 8階層以内</p> <p>(6) 組込みメンバ中の組込みメンバ数は, 200個以内</p>		なし
3	<p>記述上の制限</p> <p>(1) 対象プログラム(定義体)ソースは文法上エラーのないものであること。</p> <p>(2) INCLUDE命令・COPY命令の原文名, サブスキーマ名段落のサブスキーマ名までは1行(物理的)に記述されていること。</p> <p>(3) INCLUDE命令・COPY命令において登録集名を指定しても原文名しか対象としない。</p> <p>(4) COBOLプログラムの場合, ソースプログラム中に「IDENTIFICATION DIVISION」又は「ID DIVISION」を含んでいなければならない。</p> <p>(5) COBOLプログラムの場合, ソースプログラム中に又はCOPYメンバ内に「PROCEDURE DIVISION」を含んでいなければならない。</p> <p>(6) 引用符内文字列で, 引用符を2つ連続して使用するとき, その2つが2行にまたがってはならない。</p>		なし
4	<p>対象ファイルのメンバ名</p> <p>(1) 扱えるメンバ名は8文字以内である。</p>		なし
5	JES-E配下では日本語帳票の出力はできない。		なし
6	日本語ラインプリンタを使用する場合, JES初期化文の出力クラスでGRAPH指定をしなければならない。		なし

表5.1 制限事項（続き）

項番	制限事項	備考 (代行方法, その他)	解除予定
7	GEM ライブラリ中のモジュールを計測中は、計測対象モジュールをGEM EDITで参照してはならない。また、記号を指定して複数資産の計測を行う場合は、GEM ライブラリ中の全てのモジュールをGEM EDITで参照してはならない。		なし
8	区分編成データセットを連結して使用する場合、同一モジュールが存在するときは連結順が先のライブラリにあるものが有効となる。		なし
9	組込みメンバ名は、英字で始まる8文字以内の英数字であること。		なし
10	GEM のINCLUDE 制御文で組み込まれるメンバのパラダイムは計測しない。		なし
11	計測時にエラーが発生すると、リファレンス情報が正しく生成されない。そのため、エラーの発生した計測情報から台帳ファイルを作成しても、出力内容は保証されない。		なし

6. 移行上の注意

以前のバージョンレベルからこのソフトウェアに移るときには、以下の事項に留意しなければならない。

6.1 SIMPLE / STEP COUNTER V20L11からの移行

- (1) V20L11と共存させる場合は、別ライブラリにインストールすること。
(旧バージョンと同じロードモジュールライブラリに格納しない)
- (2) 台帳ファイルは、新規に作成し直すか、又は変換ジョブにより従来の台帳ファイルをV21L10用のデータフォーマットに変換するかどちらかを行う必要がある。 参照⇒ 11.3

6.2 SIMPLE / STEP COUNTER V20L20, V20L30からの移行

- (1) V20L20, V20L30と共存させる場合は、別ライブラリにインストールすること。
(旧バージョンと同じロードモジュールライブラリに格納しない)

7. ソフトウェア組合せ条件

このソフトウェアを使用するときに必要な関連ソフトウェアは以下のとおりである。

なお、OSIV/MSPを表7.1 に、OSIV/F4 MSP E20 以降を表7.2 に示す。

表7.1 必要関連ソフトウェア (OSIV/MSP)

必要ソフトウェア	適用V / L	必要条件		備 考
		必須	選択	
A F II	V10L10 以降			
COBOL 85	V12L10 以降			
ソートマージ	V10L30 以降			
GEM	V10L30 以降			ソースライブラリ又はコピーライブラリが GEM の場合
ADJUST	V11L10 以降			帳票出力を行う場合

表7.2 必要関連ソフトウェア (OSIV/F4 MSP E20 以降)

必要ソフトウェア	適用V / L	必要条件		備 考
		必須	選択	
COBOL 85	V11L20 以降			システム制御プログラムがPTF レベル C87121の場合は、L87091以降であること
ソートマージ	V10L30 以降			
GEM	V10L30 以降			ソースライブラリ又はコピーライブラリが GEM の場合
ADJUST	V10L50 以降			帳票出力を行う場合

8. 入出力装置

本ソフトウェアの各ドキュメントの出力が可能なプリンタ装置について説明する。

本ソフトウェアの帳票は、日本語ラインプリンタ、およびカット紙ラインプリンタで出力することができる。ただし、フォームオーバーレイが出力でき、1行当たりのデータ長(バイト)が308バイト以上の帳票が出力できるプリンタであること。

9. 提供媒体形式と内容

このソフトウェアで提供される磁気テープの内容は、表9.1 ~表9.2 に示すとおりである。

表9.1 提供媒体形式

種 別	記憶密度 (BPI)	ラベル形式	ボリューム 通し番号	ファイル数	テープサイズ	巻 数
DLB01	6250	SL	STEPF4	5	QUARTER	1

表9.2 提供媒体内容

格納 順番	データセット名	内 容
1	STEP.CNTL	インストレーションツール(インストール用制御文, 実行用ジョブ制御文, フォームオーバーレイソース)のJSECOPY のアンロード版
2	STEP.LOAD	ロードモジュールのJSECOPY のアンロード版
3	STEP.IMAGELIB	イメージライブラリのJSECOPY のアンロード版
4	STEP.SOC	稼働確認用COBOLソースプログラムのJSECOPY のアンロード版
5	STEP.COPY	稼働確認用COBOLコピー句のJSECOPY のアンロード版

10. DASD所要量

このソフトウェアのインストールを完了したときのDASD所要量の見積りを表10.1に示す。

表10.1 DASD所要量

単位は各々次のとおり
 レコード長、ブロック長：バイト
 ディレクトリ：ブロック
 DASD所要量：トラック

項 番	ファイル名		ファイル形式 レコード長 レコード長 ブロック長	算 出 式			備 考
	標準名	変更 可否		ディレ クトリ	DASD所要量		
					F6421	F6425	
1	STEP .CNTL	可	区分編成 FB 80 3120	2	3	2	
2	STEP .LOAD	可	区分編成 U 6144	10	33	23	
3	STEP IMAGELIB	可	区分編成 U 26793	2	55	39	
4	STEP .SOC	可	区分編成 FB 80 3120	1	10	7	
5	STEP .COPY	可	区分編成 FB 80 3120	1	7	5	

11. インストールの手引

このソフトウェアをインストールする為の手順を説明する。

11.1 インストール用ジョブ制御文のローディング

インストール用ジョブ制御文は、JCLファイルの1メンバとして提供している。

このJCLファイルをDASDにローディングするジョブ制御文の例を図11.1に示す。下線部は修正箇所である。なお、下線が引かれていない部分でも、システムに合わせて装置名などを変更する。

```
//USER01A JOB XXXXX, CLASS=H, MSGCLASS=R  
//JOBCAT DD DSN=USERXXX, DISP=SHR  
//INST01 EXEC PGM=JSECOPY  
//SYSPRINT DD SYSOUT=*  
//INPUT DD DSN=STEP.CNTL, DISP=(,PASS), LABEL=(1,SL),  
// UNIT=MT, VOL=SER=STEPF4  
//OUTPUT DD DSN=USER01.STEP.CNTL, DISP=(NEW,CATLG), UNIT=SYSDA,  
// VOL=SER=DASDXX, SPACE=(TRK,(2,1,2))  
//SYSUT3 DD UNIT=SYSDA, SPACE=(TRK,(1,1))  
//SYSUT4 DD UNIT=SYSDA, SPACE=(TRK,(1,1))  
//SYSIN DD *  
COPY OUTDD=OUTPUT, INDD=INPUT  
/*  
//
```

図11.1 セットアップ用ジョブ制御文ローディング用のジョブ制御文例

11.2 インストール用ジョブ制御文の修正と実行

インストールするシステムに応じ、インストール用ジョブ制御文を修正し、実行する。

図11.2にインストール用ジョブ制御文を示す。メンバ名は、'INSTALL' である。下線部は修正箇所を示す。
なお、下線が引かれていない部分でも、システムに合わせて装置名などを変更する。

```
//USER01A JOB XXXXX, CLASS=H, MSGCLASS=R  
/*  
//JOB CAT DD DSN=USERXXX, DISP=SHR  
//INSTALL EXEC PGM=JSECOPI  
//SYS PRINT DD SYSOUT=*  
//IN01 DD DSN=STEP.LOAD, UNIT=MT, VOL=SER=STEPF4,  
// LABEL=(2, SL), DISP=(OLD, PASS)  
//IN02 DD DSN=STEP.IMAGELIB, UNIT=MT, VOL=SER=STEPF4,  
// LABEL=(3, SL), DISP=(OLD, PASS)  
//IN03 DD DSN=STEP.SOC, UNIT=MT, VOL=SER=STEPF4,  
// LABEL=(4, SL), DISP=(OLD, PASS)  
//IN04 DD DSN=STEP.COPY, UNIT=MT, VOL=SER=STEPF4,  
// LABEL=(5, SL), DISP=(OLD, PASS)  
//OUT01 DD DSN=USER01.STEP.LOAD, DISP=(NEW, CATLG), UNIT=SYSDA,  
// VOL=SER=DASDXX, SPACE=(TRK, (23, 1, 10), RLSE)  
//OUT02 DD DSN=USER01.STEP.IMAGELIB, DISP=(NEW, CATLG), UNIT=SYSDA,  
// VOL=SER=DASDXX, SPACE=(TRK, (39, 1, 2), RLSE)  
//OUT03 DD DSN=USER01.STEP.SOC, DISP=(NEW, CATLG), UNIT=SYSDA,  
// VOL=SER=DASDXX, SPACE=(TRK, (7, 1, 1), RLSE)  
//OUT04 DD DSN=USER01.STEP.COPY, DISP=(NEW, CATLG), UNIT=SYSDA,  
// VOL=SER=DASDXX, SPACE=(TRK, (5, 1, 1), RLSE)  
//SYSUT3 DD UNIT=SYSDA, SPACE=(TRK, (1))  
//SYSUT4 DD UNIT=SYSDA, SPACE=(TRK, (1))  
//SYSIN DD *  
COPY INDD=IN01, OUTDD=OUT01  
COPY INDD=IN02, OUTDD=OUT02  
COPY INDD=IN03, OUTDD=OUT03  
COPY INDD=IN04, OUTDD=OUT04  
/*  
//
```

図11.2 インストール用ジョブ制御文

<補足説明>

- ・イメージライブラリへのインストールメンバ名は以下のとおりである。

(KOL1CNT1, KOL1CNT2, KOL1CNT3, KOL1CNT4, KOL1CNT5, KOL1SC03, KOL1SC05, KOL1SC08, KOL1SC09)

11.3 実行用ジョブ制御文の修正

MF-STEP-COUNTERを実行するためのジョブ制御文を図11.3～図11.6に示す。下線部分は、修正箇所を示す。

表11.1 実行用ジョブ制御文一覧

識別No.	メンバ名	概 略
図11.3	C R	計測, 出力, 計測結果の台帳ファイルへの保存を行うとき使用。
図11.4	C	計測, 出力のみを行うとき使用。
図11.5	O	台帳ファイルに格納されている結果を出力するとき使用。
図11.6	C N V	台帳ファイルのコンバートを行うとき使用。(V20L11→V21L10以降)

11.3.1 実行用ジョブ制御文の修正

このソフトウェアを稼働させるためのジョブ制御文の修正方法を以下に説明する。下線部分は変更箇所であり、図中の項番は説明中の項番に対応する。なお、下線部以外にもシステムに合わせて装置名などの修正を行う。

- ① イメージライブラリを指定する。
- ② ロードモジュールライブラリを指定する。
- ③ COBOL85コンパイラ, COBOL85ライブラリ, ADJUSTなどの必要プログラムのライブラリを指定する。ただし、認定ライブラリとなっているものは、指定してはならない。
- ④ 計測対象のソースライブラリ (GEM の場合) を指定する。
- ⑤ 計測対象のソースライブラリ (POの場合) を指定する。
- ⑥ 計測対象の COPY ライブラリを指定する。
- ⑦ 計測対象の INCLUDEライブラリを指定する。
- ⑧ 計測対象の GEMのINCLUDE 制御文を指定する。
- ⑨ 計測対象の AIM ディレクトリを指定する。
COBOLプログラムで、サブスキーマ名段落を含んでいる場合必要。
- ⑩ ステップ情報ファイルを指定する。
- ⑪ リファレンス情報ファイルを指定する。
- ⑫ CSV形式ファイルの出力先を指定する。
- ⑬ 旧レベルV20L11のステップ情報ファイルを指定する。
- ⑭ 旧レベルV20L11のリファレンス情報ファイルを指定する。

```

//USER01A JOB XXXXX,CLASS=A,MSGCLASS=R,NOTIFY=USER01
//JOB CAT DD DSN=USERXXX,DISP=SHR
//IMAGELIB DD DSN=STEP.IMAGELIB,DISP=SHR,
//          VOL=SER=DASDXX,UNIT=SYSDA
//SCCNTBCP EXEC PGM=SCCNTBCP,REGION=2048K,PARM='PO,V11,NOCSV'
//STEPLIB DD DSN=STEP.LOAD,DISP=SHR
//          DD DSN=SYS1.C85.COBLIB,DISP=SHR
//          DD DSN=SYS1.C85.LINKLIB,DISP=SHR
//          DD DSN=SYS1.ADJUST.LINKLIB,DISP=SHR
//          DD DSN=SYS1.GEM.LINKLIB,DISP=SHR
//          DD DSN=SYS1.SORT.LINKLIB,DISP=SHR
//CONTROL DD *
PRDP FROM=73,TO=80
PRDN NAME=850910
PRDN NAME=851023
PRDN NAME=851024
PRDN NAME=851025
CNT TYPE=COBOL,OUT,CMNT='MF-STEP COUNTER'
SEL NAME=*
//GEMLIB DD DUMMY
//POLIB DD DSN=STEP.SOC,DISP=SHR
//COPYLIB DD DSN=STEP.COPY,DISP=SHR
//INCLIB DD DUMMY
//GINCLIB DD DUMMY
//AIMLIB DD DSN=AIM1.DRCTLIB,DISP=SHR
//SYSINF DD DSN=&&ATINF,SPACE=(CYL,(1,1)),UNIT=SYSDA,VOL=SER=WORK01,
//          DCB=(LRECL=80,BLKSIZE=3120,RECFM=FB),DISP=(NEW,PASS)
//SYSIN DD DSN=&&ATINF,UNIT=SYSDA,VOL=SER=WORK01,DISP=(SHR,PASS)
//SYSCOB DD DSN=&&SYSCOB,UNIT=SYSDA,SPACE=(CYL,(1,1)),
//          DISP=(NEW,DELETE)
//SINFO DD DSN=&&SINFO,UNIT=SYSDA,SPACE=(TRK,(50,10)),
//          DCB=(LRECL=119,BLKSIZE=952,RECFM=FB),DISP=(NEW,DELETE)
//SINFT DD DSN=&&SINFT,UNIT=SYSDA,SPACE=(TRK,(50,10)),
//          DCB=(LRECL=119,BLKSIZE=952,RECFM=FB),DISP=(NEW,PASS)
//RINFO DD DSN=&&RINFO,UNIT=SYSDA,SPACE=(TRK,(50,10)),
//          DCB=(LRECL=100,BLKSIZE=1000,RECFM=FB),DISP=(NEW,DELETE)
//RINFT DD DSN=&&RINFT,UNIT=SYSDA,SPACE=(TRK,(50,10)),
//          DCB=(LRECL=100,BLKSIZE=1000,RECFM=FB),DISP=(NEW,PASS)
//RINF1 DD DSN=&&RINF1,UNIT=SYSDA,SPACE=(TRK,(50,10)),
//          DCB=(LRECL=100,BLKSIZE=1000,RECFM=FB),DISP=(NEW,DELETE)
//SYSUT1 DD UNIT=SYSDA,SPACE=(CYL,(5,1))
//SORTWK01 DD UNIT=SYSDA,SPACE=(TRK,(5,1))
//SORTWK02 DD UNIT=SYSDA,SPACE=(TRK,(5,1))
//SORTWK03 DD UNIT=SYSDA,SPACE=(TRK,(5,1))
//CHKLISTF DD SYSOUT=*
//LOGLISTF DD SYSOUT=*
//MSGLISTF DD SYSOUT=*
//NLPOUT DD SYSOUT=*
//NLPOUT2 DD SYSOUT=*
//NLPOUT5 DD SYSOUT=*
//DUMPLSTF DD DUMMY
//SYSPRINT DD DUMMY
//SYSOUT DD DUMMY
//*

```

図11.3 実行用ジョブ制御文(CR) (続)


```

//SCNTCMB EXEC PGM=SCNTCMB,REGION=1024K,COND=(0,LT,SCNTBCP)
//STEPLIB DD DSN=STEP.LOAD,DISP=SHR
// DD DSN=SYS1.C85.COBLIB,DISP=SHR
// DD DSN=SYS1.C85.LINKLIB,DISP=SHR
// DD DSN=SYS1.ADJUST.LINKLIB,DISP=SHR
// DD DSN=SYS1.GEM.LINKLIB,DISP=SHR
// DD DSN=SYS1.SORT.LINKLIB,DISP=SHR
//SINFO DD DSN=STEP.SINF,DISP=OLD
//RINFO DD DSN=STEP.RINF,DISP=OLD
//SINFT DD DSN=&&SINFT,UNIT=SYSDA,DISP=(OLD,DELETE)
//RINFT DD DSN=&&RINFT,UNIT=SYSDA,DISP=(OLD,DELETE)
//SINF1 DD DSN=&&SINF1,UNIT=SYSDA,SPACE=(TRK,(50,10)),
// DISP=(NEW,DELETE)
//RINF1 DD DSN=&&RINF1,UNIT=SYSDA,SPACE=(TRK,(50,10)),
// DISP=(NEW,DELETE)
//SORTWK01 DD UNIT=SYSDA,SPACE=(TRK,(5,1))
//SORTWK02 DD UNIT=SYSDA,SPACE=(TRK,(5,1))
//SORTWK03 DD UNIT=SYSDA,SPACE=(TRK,(5,1))
//MSGLISTF DD SYSOUT=*
//DUMPLSTF DD DUMMY
//SYSPRINT DD DUMMY
//SYSOUT DD DUMMY
//*
//

```

図11.3 実行用ジョブ制御文 (CR) (続き)

```

//USER01A JOB XXXXX, CLASS=A, MSGCLASS=R, NOTIFY=USER01
//JOB CAT DD DSN=USERXXX, DISP=SHR
//IMAGELIB DD DSN=STEP.IMAGELIB, DISP=SHR, _____①
//          VOL=SER=DASDXX, UNIT=SYSDA
//SCCNTBCP EXEC PGM=SCCNTBCP, REGION=2048K, PARM='PO,V11,CSV'
//STEPLIB DD DSN=STEP.LOAD, DISP=SHR _____②
//          DD DSN=SYS1.C85.COBLIB, DISP=SHR _____③
//          DD DSN=SYS1.C85.LINKLIB, DISP=SHR
//          DD DSN=SYS1.ADJUST.LINKLIB, DISP=SHR
//          DD DSN=SYS1.GEM.LINKLIB, DISP=SHR
//          DD DSN=SYS1.SORT.LINKLIB, DISP=SHR
//CONTROL DD *
PRDP FROM=73, TO=80
PRDN NAME=850910
PRDN NAME=851023
PRDN NAME=851024
PRDN NAME=851025
CNT TYPE=COBOL, OUT, CMNT='MF-STEP COUNTER'
SEL NAME=*
//GEMLIB DD DUMMY _____④
//POLIB DD DSN=STEP.SOC, DISP=SHR _____⑤
//COPYLIB DD DSN=STEP.COPY, DISP=SHR _____⑥
//INCLIB DD DUMMY _____⑦
//GINCLIB DD DUMMY _____⑧
//AIMLIB DD DSN=AIM1.DRCTLIB, DISP=SHR _____⑨
//SYSINF DD DSN=&&ATINF, SPACE=(CYL,(1,1)), UNIT=SYSDA, VOL=SER=WORK01,
//          DCB=(LRECL=80, BLKSIZE=3120, RECFM=FB), DISP=(NEW, PASS)
//SYSIN DD DSN=&&ATINF, UNIT=SYSDA, VOL=SER=WORK01, DISP=(SHR, DELETE)
//SYSCOB DD DSN=&&SYSCOB, UNIT=SYSDA, SPACE=(CYL,(1,1)),
//          DISP=(NEW, DELETE)
//SINFO DD DSN=&&SINFO, UNIT=SYSDA, SPACE=(TRK,(50,10)),
//          DCB=(LRECL=119, BLKSIZE=952, RECFM=FB), DISP=(NEW, DELETE)
//SINFT DD DSN=&&SINFT, UNIT=SYSDA, SPACE=(TRK,(50,10)),
//          DCB=(LRECL=119, BLKSIZE=952, RECFM=FB), DISP=(NEW, DELETE)
//RINFO DD DSN=&&RINFO, UNIT=SYSDA, SPACE=(TRK,(50,10)),
//          DCB=(LRECL=100, BLKSIZE=1000, RECFM=FB), DISP=(NEW, DELETE)
//RINFT DD DSN=&&RINFT, UNIT=SYSDA, SPACE=(TRK,(50,10)),
//          DCB=(LRECL=100, BLKSIZE=1000, RECFM=FB), DISP=(NEW, DELETE)
//RINF1 DD DSN=&&RINF1, UNIT=SYSDA, SPACE=(TRK,(50,10)),
//          DCB=(LRECL=100, BLKSIZE=1000, RECFM=FB), DISP=(NEW, DELETE)
//SYSUT1 DD UNIT=SYSDA, SPACE=(CYL,(5,1))
//SORTWK01 DD UNIT=SYSDA, SPACE=(TRK,(5,1))
//SORTWK02 DD UNIT=SYSDA, SPACE=(TRK,(5,1))
//SORTWK03 DD UNIT=SYSDA, SPACE=(TRK,(5,1))
//CSVOUT DD DSN=STEP.CSVOUT, DISP=(,CATLG), _____⑫
//          DCB=(LRECL=184, BLKSIZE=1844, RECFM=VB), UNIT=SYSDA,
//          SPACE=(TRK,(1,1))
//CHKLISTF DD SYSOUT=*
//LOGLISTF DD SYSOUT=*
//MSGLISTF DD SYSOUT=*
//NLPOUT DD SYSOUT=*
//NLPOUT2 DD SYSOUT=*
//NLPOUT5 DD SYSOUT=*
//DUMPLSTF DD DUMMY
//SYSPRINT DD DUMMY
//SYSOUT DD DUMMY
//*
//

```

図11.4 実行用ジョブ制御文(C)

```

//USER01A JOB XXXXX,CLASS=A,MSGCLASS=R,NOTIFY=USER01
//JOB CAT DD DSN=USERXXX,DISP=SHR
//IMAGELIB DD DSN=STEP.IMAGELIB,DISP=SHR,
//          VOL=SER=DASDXX,UNIT=SYSDA
//SCOUTBCP EXEC PGM=SCOUTBCP,REGION=1024K,PARM='CSV'
//STEPLIB DD DSN=STEP.LOAD,DISP=SHR
//          DD DSN=SYS1.C85.COBLIB,DISP=SHR
//          DD DSN=SYS1.C85.LINKLIB,DISP=SHR
//          DD DSN=SYS1.ADJUST.LINKLIB,DISP=SHR
//          DD DSN=SYS1.GEM.LINKLIB,DISP=SHR
//          DD DSN=SYS1.SORT.LINKLIB,DISP=SHR
//CONTROL DD *
PRDP FROM=73,TO=80
PRDN NAME=850910
PRDN NAME=851023
PRDN NAME=851024
PRDN NAME=851025
OUT TYPE=COBOL,CMNT='MF-STEP COUTTER'
SEL NAME=*
//SINFO DD DSN=STEP.SINF,DISP=OLD
//RINFO DD DSN=STEP.RINF,DISP=OLD
//RINF1 DD DSN=&&RINF1,UNIT=SYSDA,SPACE=(CYL,(1,1)),
//          DCB=(LRECL=100,BLKSIZE=1000,RECFM=FB),DISP=(NEW,DELETE)
//SORTWK01 DD UNIT=SYSDA,SPACE=(TRK,(5,1))
//SORTWK02 DD UNIT=SYSDA,SPACE=(TRK,(5,1))
//SORTWK03 DD UNIT=SYSDA,SPACE=(TRK,(5,1))
//CSVOUT DD DSN=STEP.CSVOUT,DISP=(,CATLG),
//          DCB=(LRECL=184,BLKSIZE=1844,RECFM=VB),UNIT=SYSDA,
//          SPACE=(TRK,(1,1))
//CHKLISTF DD SYSOUT=*
//LOGLISTF DD SYSOUT=*
//MSGLISTF DD SYSOUT=*
//NLPOUT DD SYSOUT=*
//NLPOUT2 DD SYSOUT=*
//NLPOUT5 DD SYSOUT=*
//DUMPLSTF DD DUMMY
//SYSPRINT DD DUMMY
//SYSOUT DD DUMMY
//*
//

```

図11.5 実行用ジョブ制御文(○)

```

//USER01A JOB XXXXX, CLASS=A, MSGCLASS=R, NOTIFY=USER01
//JOB CAT DD DSN=USERXXX, DISP=SHR
//*
//SCCNVMCP EXEC PGM=SCCNVMCP, REGION=2048K
//STEPLIB DD DSN=STEP.LOAD, DISP=SHR
// DD DSN=SYS1.C85.COBLIB, DISP=SHR
// DD DSN=SYS1.C85.LINKLIB, DISP=SHR
// DD DSN=SYS1.ADJUST.LINKLIB, DISP=SHR
// DD DSN=SYS1.GEM.LINKLIB, DISP=SHR
// DD DSN=SYS1.SORT.LINKLIB, DISP=SHR
//CONTROL DD *
CNV
//SINFO DD DSN=STEP.OLDSINF, DISP=SHR
//SINFN DD DSN=&&SINFN, UNIT=SYSDA, SPACE=(TRK, (50, 10)),
// DCB=(LRECL=119, BLKSIZE=952, RECFM=FB), DISP=(NEW, PASS)
//SINF1 DD DSN=&&SINF1, UNIT=SYSDA, SPACE=(TRK, (50, 10)),
// DCB=(LRECL=119, BLKSIZE=952, RECFM=FB), DISP=(NEW, DELETE)
//RINFO DD DSN=STEP.OLDRINF, DISP=SHR
//RINFN DD DSN=&&RINFN, UNIT=SYSDA, SPACE=(TRK, (50, 10)),
// DCB=(LRECL=100, BLKSIZE=1000, RECFM=FB), DISP=(NEW, PASS)
//RINF1 DD DSN=&&RINF1, UNIT=SYSDA, SPACE=(TRK, (50, 10)),
// DCB=(LRECL=100, BLKSIZE=1000, RECFM=FB), DISP=(NEW, DELETE)
//CHKLISTF DD SYSOUT=*
//LOGLISTF DD SYSOUT=*
//MSGLISTF DD SYSOUT=*
//DUMPLSTF DD DUMMY
//SYSPRINT DD DUMMY
//SYSOUT DD DUMMY
//*
//SCCNTCMB EXEC PGM=SCCNTCMB, REGION=1024K, COND=(0, LT, SCCNVMCP)
//STEPLIB DD DSN=STEP.LOAD, DISP=SHR
// DD DSN=SYS1.C85.COBLIB, DISP=SHR
// DD DSN=SYS1.C85.LINKLIB, DISP=SHR
// DD DSN=SYS1.ADJUST.LINKLIB, DISP=SHR
// DD DSN=SYS1.GEM.LINKLIB, DISP=SHR
// DD DSN=SYS1.SORT.LINKLIB, DISP=SHR
//SINFO DD DSN=STEP.NEWSINF, DISP=SHR
//RINFO DD DSN=STEP.NEWRINF, DISP=SHR
//SINF1 DD DSN=&&SINF1, UNIT=SYSDA, DISP=(OLD, DELETE)
//RINF1 DD DSN=&&RINF1, UNIT=SYSDA, DISP=(OLD, DELETE)
//SORTWK01 DD UNIT=SYSDA, SPACE=(TRK, (5, 1))
//SORTWK02 DD UNIT=SYSDA, SPACE=(TRK, (5, 1))
//SORTWK03 DD UNIT=SYSDA, SPACE=(TRK, (5, 1))
//MSGLISTF DD SYSOUT=*
//DUMPLSTF DD DUMMY
//SYSPRINT DD DUMMY
//SYSOUT DD DUMMY
//*
//

```

図11.6 コンバート用ジョブ制御文 (CNV)

11.4 フォームオーバーレイソース

このソフトウェアでは、ドキュメント出力時にイメージライブラリを使用している。提供するイメージライブラリは、16インチ帳票用であり、デジタルスイッチの基準値を、垂直：4、水平：5で作成している。そのため、これ以外の基準値で使用すると、プログラムの印字位置とオーバーレイがずれて出力される。この場合は、フォームオーバーレイのMANNE R文を修正し、イメージライブラリを再作成する。

フォームオーバーレイの修正及び登録の方法は”OS^{IV}/F4 MSP ADJUST使用手引書”を参照されたい。図11.7にMANNE R文の修正方法を示す。

<pre>MANNER SIZE(30,30),ALIGN,MOVE(-1,0)</pre> <p style="text-align: right; margin-right: 100px;">↑ ↑ 水平 垂直</p>
--

図11.7 MANNE R文の修正方法

MANNE R文のMOVEオペランドを追加し、水平方向及び垂直方向の位置を修正する。フォームオーバーレイソースのJCLライブラリ中のメンバは以下のとおりである。

- OVLCNT1 : プログラムステップ情報
- OVLCNT2 : 組込みメンバステップ情報
- OVLCNT3 : プログラムステップ別パラダイムステップ情報
- OVLCNT4 : 組込みメンバ別パラダイムステップ情報(COBOL計測時)
- OVLCNT5 : パラダイムパターン別ステップ情報(COBOL計測時)
- OVER03 : ADJUSTフォームオーバーレイパターンステップ情報
- OVER05 : プログラム別パラダイムステップ情報
- OVER08 : パラダイムパターン別ステップ情報(COBOL以外計測時)
- OVER09 : ステップ情報

12. 稼働確認

このソフトウェアの稼働確認の手順を説明する。

12.1 計測出力機能稼働確認

提供JCL ファイルのメンバ 'C' を修正し、実行する。

a) ジョブ制御文の修正

稼働確認のためのジョブ制御文の修正箇所を説明する。説明箇所以外は、“11.3 実行用ジョブ制御文の修正”で修正した内容と同様である。

正常に稼働した場合には、図12.1～図12.5と同一のドキュメント及び、CSVOUT DD 文に図12.6と同一のファイルが出力されるので確認されたい。

- POLIB DD文に、稼働確認用COBOLソースプログラムを指定する。
- COPYLIB DD文に、稼働確認用COBOLコピー句を指定する。

プログラムステップ情報 [COBOL]

年月日作成 1 PAGE
注記 (MF-STEP COUNTER)

NO	プログラム名	ステップ数概略			ステップ数内訳			組込形態別	備考
		総ステップ	手書き	組込み	総ステップ	手書き	組込み		
1	KADOUOK	5414	3376(62%)	2038(38%)	有効 (宣) 4285(79%) (実) 1507(28%) 注釈 (宣) 2778(51%) (実) 1129(21%) (宣) 357(7%) (実) 772(14%)	有効 (宣) 2524(75%) (実) 1163(34%) 注釈 (宣) 1361(41%) (実) 852(25%) (宣) 328(10%) (実) 524(15%)	有効 (宣) 1761(86%) (実) 344(17%) 注釈 (宣) 1417(69%) (実) 277(14%) (宣) 29(1%) (実) 248(13%)	C 2038(100%) I 0(0%) G 0(0%) S 0(0%)	
	合計	5414	3376(62%)	2038(38%)	有効 (宣) 4285(79%) (実) 1507(28%) 注釈 (宣) 2778(51%) (実) 1129(21%) (宣) 357(7%) (実) 772(14%)	有効 (宣) 2524(75%) (実) 1163(34%) 注釈 (宣) 1361(41%) (実) 852(25%) (宣) 328(10%) (実) 524(15%)	有効 (宣) 1761(86%) (実) 344(17%) 注釈 (宣) 1417(69%) (実) 277(14%) (宣) 29(1%) (実) 248(13%)	C 2038(100%) I 0(0%) G 0(0%) S 0(0%)	
	平均	5414	3376(62%)	2038(38%)	有効 (宣) 4285(79%) (実) 1507(28%) 注釈 (宣) 2778(51%) (実) 1129(21%) (宣) 357(7%) (実) 772(14%)	有効 (宣) 2524(75%) (実) 1163(34%) 注釈 (宣) 1361(41%) (実) 852(25%) (宣) 328(10%) (実) 524(15%)	有効 (宣) 1761(86%) (実) 344(17%) 注釈 (宣) 1417(69%) (実) 277(14%) (宣) 29(1%) (実) 248(13%)	C 2038(100%) I 0(0%) G 0(0%) S 0(0%)	

図12.1 プログラムステップ情報稼働確認ドキュメント

NO	組込みメンバ名	総ステップ	有効・注釈別ステップ数		使用箇所	のべ 総ステップ	使用 回数	使用プログラム 及び組込み名
			有効	注釈				
1	ORGSTEP	4	4(100%)	0(0%)	宣言	4	1	(P) KADOUOK
2	OUTMOD04	306	214(70%)	92(30%)	実行	306	1	(P) KADOUOK
3	PARACOPY	1359	1203(89%)	156(11%)	実行	1359	1	(P) KADOUOK
4	PARADATA	274	251(92%)	23(8%)	宣言	274	1	(P) KADOUOK
5	RFILE0	20	20(100%)	0(0%)	宣言	20	1	(P) KADOUOK
6	RFILE1	17	17(100%)	0(0%)	宣言	17	1	(P) KADOUOK
7	SDWORK	19	13(68%)	6(32%)	宣言	19	1	(P) KADOUOK
8	SFILE0	19	19(100%)	0(0%)	宣言	19	1	(P) KADOUOK
9	SORTFR	20	20(100%)	0(0%)	宣言	20	1	(P) KADOUOK
章 計		2038 227	1761(86%) 196(86%)	277(14%) 31(14%)	- - - - - -	- - - - - -	- - - -	

図12.2 組込みメンバステップ情報稼働確認ドキュメント

プログラムステップ別パラダイムステップ情報

NO	プログラム名	ステップ数内訳			パラダイムステップ数内訳			備考
		総ステップ	パラダイムステップ	非パラダイムステップ	パターン名	ステップ数	利用率	
1	KADOUOK	5414	137(3%)	5277(97%)	850910 851023 851024 851025	132 2 2 1	2% 0% 0% 0%	
章 計		5414 5414	137(3%) 137(3%)	5277(97%) 5277(97%)		137 137	3% 3%	

図12.3 プログラム別パラダイムステップ情報稼働確認ドキュメント

組込みメンバ別パラダイムステップ情報

[COPY]

年月日作成 1 PAGE
注記 (MF-STEP COUNTER)

NO	プログラム名	ステップ数内訳			パラダイムステップ数内訳			備考
		総ステップ	パラダイムステップ	非パラダイムステップ	パターン名	ステップ数	利用率	
1	OUTMOD04	306	176(58%)	130(42%)	850910	176	58%	
2	PARACOPY	1359	34(3%)	1325(97%)	850910	33	2%	
					851024	1	0%	
3	PARADTA	274	12(4%)	262(96%)	850910	12	4%	
合計		1939 646	222(11%) 74(11%)	1717(89%) 572(89%)		222 74	11% 11%	

図12.4 組込みメンバ別パラダイムステップ情報稼働確認ドキュメント

パラダイムパターン別ステップ情報

年月日作成 1 PAGE
注記 (MF-STEP COUNTER)

NO	パラダイムパターン名	オリジナルステップ	使用プログラム名	のベストステップ	備考
1	850910		*KADOUOK *OUTMOD04 *PATACOPY *PARADATA	353	
2	851023		*KADOUOK	2	
3	851024		*KADOUOK *PATACOPY	3	
4	851025		*KADOUOK	1	

図12.5 パラダイムパターン別ステップ情報稼働確認ドキュメント


```

***** SIMPLIA/MF-STEP-COUNTER ***** yyyy/mm/dd hh:mm:ss"
#1 "プログラムステップ情報 [ COBOL ]"
,"プログラム名", " 宣言部有効ステップ数", " 宣言部注釈ステップ数", ....., "組み込み注釈ステップ数"
,"KADOUOK", 1163, 328, 1361, 524, 1761, 277
#4 "組み込みメンバステップ情報 [ COPY ]"
,"組み込みメンバ名", " 有効ステップ数", " 注釈ステップ数"
,"ORGSTEP", 4, 0
,"OUTMOD04", 214, 92
,"PARACOPY", 1203, 156
,"PARADATA", 251, 23
,"RFILE0", 20, 0
,"RFILE1", 17, 0
,"SDWORK", 13, 6
,"SFILE0", 19, 6
,"SORTFR", 20, 0
#5 "プログラムステップ別パラダイムステップ情報"
,"プログラム名", " パラダイムパターン名", " ステップ数"
,"KADOUOK", "850910", 132
,"", "851023", 2
,"", "851024", 2
,"", "851025", 1
#8 "組み込みメンバ別パラダイムステップ情報 [ COPY ]"
,"メンバ名", " パラダイムパターン名", " ステップ数"
,"OUTMOD04", "850910", 176
,"PARACOPY", "850910", 33
,"", "851024", 1
,"PARADATA", "850910", 12
#7 "パラダイムパターン別ステップ情報"
,"パラダイムパターン名", " 使用プログラム名", ....., "のベステップ数"
,"850910", "KADOUOK", "OUTMOD04", "PARACOPY", "PARADATA", "", "", 353
,"851023", "KADOUOK", "", "", "", "", 2
,"851024", "KADOUOK", "PARACOPY", "", "", "", 3
,"851025", "KADOUOK", "", "", "", "", 1

```

図12.6 ステップ情報CSV ファイル